

2023年度報告書 株主の皆さまへ

2023年4月1日～2024年3月31日



株式会社 **アルファ**

証券コード：3434

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。以下、当期のご報告等についてご説明いたします。

当期(2023年度)の業績

当連結会計年度における国内外の経済情勢は、米国では個人消費や雇用情勢が下支えとなり堅調に推移しましたが、その他の地域は欧州での金利の高止まりや中国経済の減速を受けて低調に推移しました。日本では新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、人流の回復やインバウンド需要が増加し、経済活動の正常化が進みました。また、好調な企業業績を背景に設備投資が底堅く推移したこと等により、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、地政学リスクの長期化や各国の政策金利の引き上げ・高止まりとこれに伴う為替変動等の影響から、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、半導体供給制約の状況が緩和され、生産台数は世界的には回復基調にあるものの、中国においては自動車市場構造の急激な変化に伴う日系車での販売不振・減産が引き続き進行しております。セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅産業におきましては、新築住宅着工戸数は資材高騰の影響等により、戸建ての注文住宅・分譲住宅及びマンションは減少、賃貸住宅は前年度とほぼ同水準に推移しております。

以上の結果、全体では増収増益となりました。

来期の業績予想

当社グループは、事業環境の不透明な見通しやグローバル競争が激化する中、外部環境に影響されにくい体質強化を優先課題として、基本方針である「新事業・新商品開発」「収益基盤の強化」「サステナビリティ経営の実践」を、国内拠点及び拡充した海外拠点の生産、間接業務の効率化等の諸施策を通じて、引き続き強力で推進してまいります。

株主の皆さまへの配当

当期末の配当金は、1株あたり25円とさせていただきました。これにより当期の年間配当は中間配当金(創業100周年記念配当10円を含む。)と合わせて、合計45円となりました。(前期の年間配当は30円)

次期の配当金については、年間50円を予定しております。



代表取締役社長執行役員 塚野 哲幸

	前期比
売上高：	745億44百万円 18.5%増
営業利益：	24億38百万円 305.6%増

	前期比
売上高：	750億円 0.6%増
営業利益：	25億円 2.5%増

	前期	当期	次期(予想)
配当(年間)：	30円	45円	50円

当期(2023年度)の主な取り組み

1 スマートロック/電気錠ラインナップを、「PREMIUM SMART LOCK」の名称にリニューアル

当社は自動車や住宅、コインロッカーなど様々なシーンにおいて、安全・安心を何よりも追及してきました。

「安心」こそが、アルファの提供できる価値だと考え、「安心して使い続けられることこそがプレミアム」という考えのもと、この度スマートロック商品のラインナップを「PREMIUM SMART LOCK」という名称にリニューアルすることを決定しました。これからも安心と信頼から選ばれるスマートロックブランドを目指して、商品名称リニューアルに伴い、ロゴも刷新しました。

PREMIUM SMART LOCK

2 セルフベンダーロッカーを利用したSDGsへの取り組み

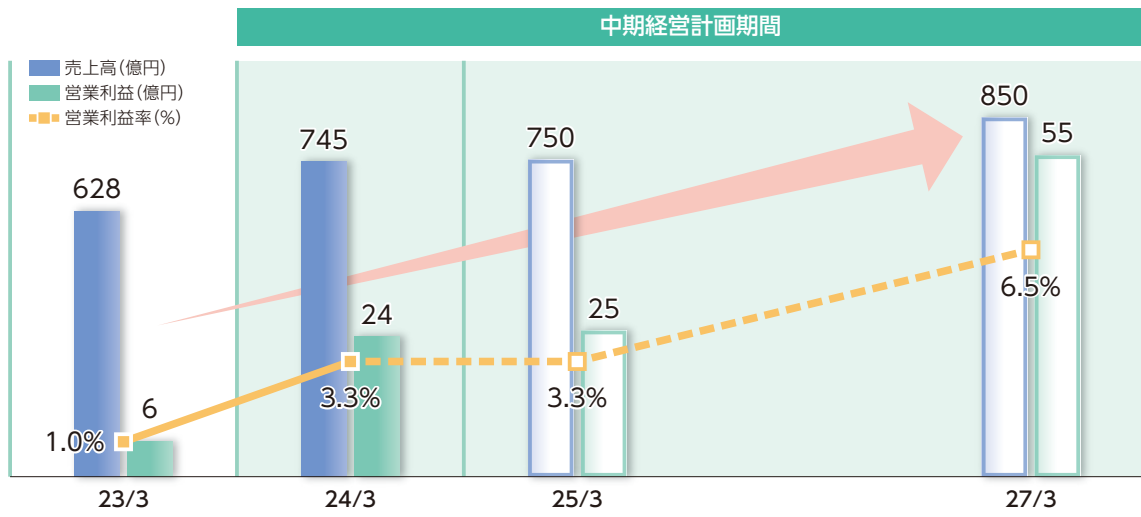
SDGsへの社会的関心が高まる中、賞味期限内でありながら店舗営業時間の制約により本来廃棄されてしまう商品を無人販売することで、食品ロス削減に貢献する新型のロッカー型自販機によるサービスを開始しました。

新型ロッカー型自販機は、数量や形に関わらず単品販売の商品をアソートして販売でき、無人販売でありながら値引き販売機能、賞味期限前に販売を止める機能などを提供、店舗は扉単位でレンタル契約できるサービスです。

フードロス削減を目的とした新型ロッカー型自販機による取り組みで、SDGsやESG経営への関心の高い企業や行政と連携し、駅をはじめ商業施設やイベント施設等への拡大展開を計画しています。

特集

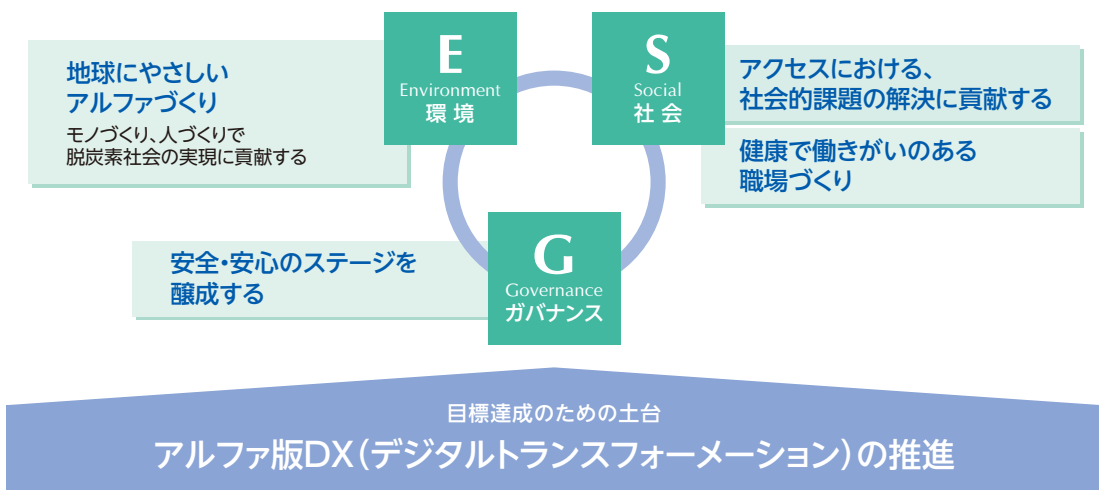
■ 中期経営計画「MP2026」の数値目標について



(単位 億円)	実績	予想	中期経営計画最終年度数値目標
売上高	628	750	850
営業利益	6	25	55
営業利益率	1.0%	3.3%	6.5%

■ サステナビリティ経営について

アルファグループは、ESGに関する課題に適切に対応するサステナビリティ経営を推進することで、事業リスクの最小化と事業機会の拡大を実践し、持続的な企業価値の向上を図ります。



3 EcoVadis社のサステナビリティ評価において「ブロンズ」評価を獲得

EcoVadis社のサステナビリティ評価において、「ブロンズ」の評価を獲得しました。

EcoVadisはグローバルで活躍するサプライヤーが数多く受審しているCSR評価サービスです。自社グループのサステナビリティ経営の進捗度を測るのに適したサービスであるため、当社グループも2017年から受審しています。2023年の審査で、ブロンズメダルを初めて獲得しました。ブロンズメダルは、全業種・企業の中で上位35%にランクインした企業に与えられるメダルです。

今後もサステナビリティ経営の取り組みを継続・向上させ、更なる高評価を目指していきたいと思ひます。

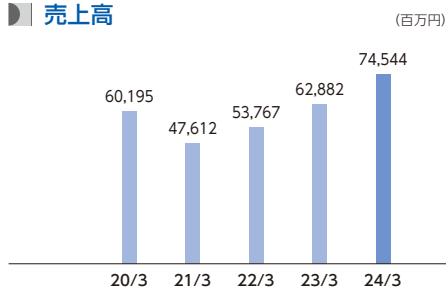


横浜市営地下鉄SDGsステーション
横浜関内

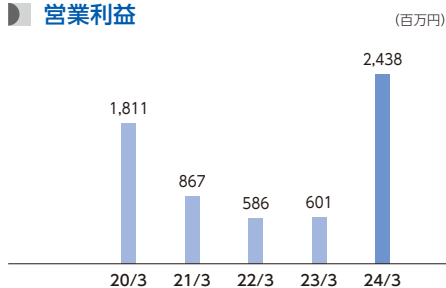


連結財務ハイライト

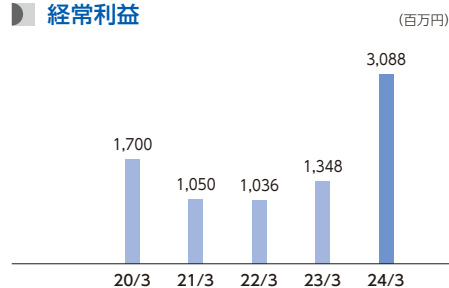
売上高



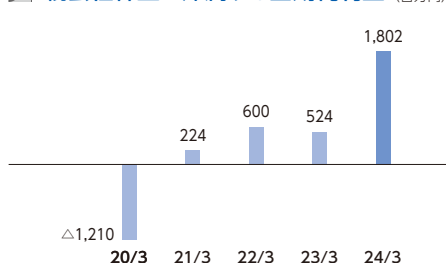
営業利益



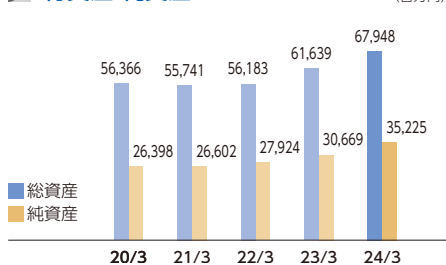
経常利益



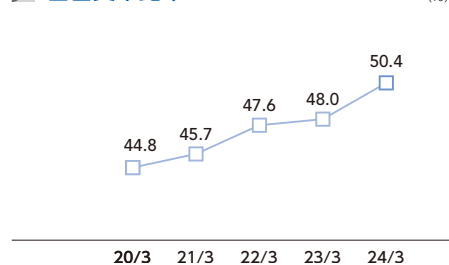
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産



自己資本比率



連結セグメント情報

連結セグメント情報

(単位 百万円)

	自動車部品事業				セキュリティ機器事業		計	調整額 (セグメント間 取引消去)	連結損益計算書 計上額
	日本	北米	アジア	欧州	日本	海外			
売上高	8,264 (+18.1%)	16,924 (+39.5%)	15,891 (△6.9%)	15,888 (+43.1%)	15,149 (+13.7%)	2,426 (+7.3%)	74,544	—	74,544
営業利益	562 (—)	378 (—)	△651 (—)	60 (—)	1,924 (+4.7%)	1,144 (+112.6%)	3,418	△ 980	2,438

()内は前期比増減率

自動車部品事業

- キーセット ● アウトサイドドアハンドル
- インサイドドアハンドル

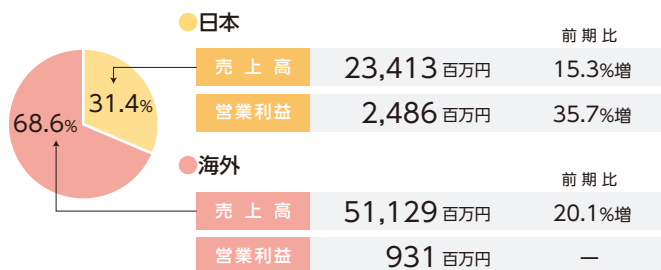
セキュリティ機器事業

- 電気錠 ● 南京錠 ● 自動販売機用・産業機器用ロック
- コインロッカー ● 貴重品ロッカー ● 宅配ロッカー

事業別の概況



地域別の概況



※事業別、地域別の概況の営業利益は、調整額を含んでおりません。

連結財務諸表

連結貸借対照表の要約

(単位 百万円)

	前期末 2023年3月31日現在	当期末 2024年3月31日現在
【資産の部】		
1 流動資産	35,371	39,933
2 固定資産	26,262	28,002
有形固定資産	19,408	19,664
無形固定資産	2,860	3,206
投資その他の資産	3,993	5,131
繰延資産	5	12
資産合計	61,639	67,948
【負債の部】		
3 流動負債	21,076	23,897
4 固定負債	9,894	8,825
負債合計	30,970	32,723
【純資産の部】		
株主資本	23,654	25,074
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,962	2,962
利益剰余金	18,484	19,903
自己株式	△551	△551
その他の包括利益累計額	5,913	9,156
非支配株主持分	1,101	994
5 純資産合計	30,669	35,225
負債純資産合計	61,639	67,948

1 流動資産

現金及び預金が28億54百万円増加、売掛金が11億32百万円増加、商品及び製品が3億19百万円増加したこと等により前期末に比べ45億61百万円増加し、399億33百万円となりました。

2 固定資産

株高等により投資有価証券が11億6百万円増加、建設仮勘定が7億86百万円増加したこと等により前期末に比べ17億39百万円増加し、280億2百万円となりました。

3 流動負債

短期借入金が16億42百万円増加、支払手形及び買掛金が6億28百万円増加、事業構造改善引当金が3億63百万円増加したこと等により前期末に比べ28億21百万円増加し、238億97百万円となりました。

4 固定負債

社債が8億60百万円増加した一方、長期借入金が18億37百万円減少したこと等により前期末に比べ10億68百万円減少し、88億25百万円となりました。

5 純資産合計

利益剰余金が14億19百万円増加したことや、為替換算調整勘定が23億24百万円増加したことにより前期末に比べ45億56百万円増加し、352億25百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の48.0%から2.4ポイント改善し50.4%となりました。

6 売上高

自動車産業においては、半導体供給制約の状況が緩和され、生産台数は世界的には回復基調にあるものの、中国においては自動車市場構造の急激な変化に伴う日系車での販売不振・減産が引き続き進行しております。住宅産業においては、新築住宅着工戸数は資材高騰の影響等により、戸建ての注文住宅・分譲住宅及びマンションは減少、賃貸住宅は前年度とほぼ同水準に推移しております。このような環境の中、売上高は前期比18.5%増の745億44百万円となりました。

7 営業利益

販管費の増加があったものの、売上高が増加したことにより、前期比305.6%増の24億38百万円となりました。

8 経常利益

前期比129.0%増の30億88百万円となりました。

9 親会社株主に帰属する当期純利益

前期比244.0%増の18億2百万円となりました。

10 営業活動によるキャッシュ・フロー

71億11百万円の収入(前期と比べて42億円収入が増加)となりました。主な要因は前期比で営業利益が増加、在庫が実質減少したことによりです。

11 投資活動によるキャッシュ・フロー

32億60百万円の支出(前期と比べて4億75百万円支出が増加)となりました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出です。

12 財務活動によるキャッシュ・フロー

10億94百万円の支出(前期は62百万円の収入)となりました。主な支出要因は、長期借入金の返済による支出です。

連結損益計算書の要約

(単位 百万円)

	前期 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当期 2023年4月1日～ 2024年3月31日
6 売上高	62,882	74,544
売上原価	54,320	63,120
売上総利益	8,562	11,424
販売費及び一般管理費	7,961	8,986
7 営業利益	601	2,438
営業外収益	1,067	1,082
営業外費用	319	432
8 経常利益	1,348	3,088
特別利益	56	29
特別損失	614	915
税金等調整前当期純利益	790	2,202
法人税等合計	380	550
当期純利益	410	1,651
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△114	△151
9 親会社株主に帰属する当期純利益	524	1,802

連結キャッシュ・フロー計算書の要約

(単位 百万円)

	前期 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当期 2023年4月1日～ 2024年3月31日
10 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,911	7,111
11 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,784	△3,260
12 財務活動によるキャッシュ・フロー	62	△1,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	179	228
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	368	2,984
現金及び現金同等物の期首残高	6,345	6,714
現金及び現金同等物の期末残高	6,714	9,699

会社情報 (2024年3月31日現在)

会社概要

社名	株式会社アルファ(英文社名 ALPHA Corporation)
創業	1923年4月14日
設立	1938年4月27日
資本金	27億6千万円
従業員数	414名(単体) 4,304名(連結)
主な事業内容	キー&ロックを中心とした自動車部品・住宅製品・コインロッカー製品の開発・製造・販売およびサービス・リース・オペレーション
生産拠点	群馬工場(館林市)

グループ(国内:3社/海外:16社)

日本リージョン	3社(うち非連結子会社:1社)
北米リージョン	4社
中国リージョン	4社(うち非連結子会社:1社)
ASEAN・インドリージョン	4社
欧州リージョン	4社(うち非連結子会社:1社)

役員 (2024年6月26日現在)

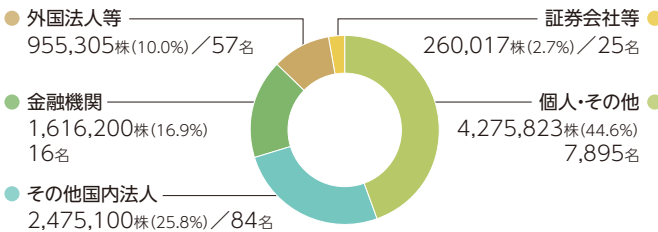
代表取締役社長執行役員	塚野 哲幸	取締役 上坂 こずえ
取締役副社長執行役員	斉藤 雄一	取締役 磯貝 和敏
取締役副社長執行役員	入澤 昭	常勤監査役 都築 邦康
取締役常務執行役員	山本 昌明	監査役 藤間 新
取締役常務執行役員	坂本 嘉章	監査役 瀧川 廣明

(注) 1. 取締役のうち、上坂こずえ氏、磯貝和敏氏の両氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち、藤間新氏、瀧川廣明氏の両氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	40,800,000株
発行済株式総数	10,200,000株
株主数	8,077名

株式分布状況



(注) 当社は自己株式を617,555株保有しておりますが、上記では自己株式を控除して計算しております。

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ハイレックスコーポレーション	1,710	17.84
日産東京販売ホールディングス株式会社	379	3.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	317	3.31
株式会社三井住友銀行	277	2.89
アルファ従業員持株会	225	2.35
INTERACTIVE BROKERS LLC	216	2.26
遠藤 宏	178	1.86
株式会社みずほ銀行	160	1.66
株式会社りそな銀行	160	1.66
株式会社三菱UFJ銀行	150	1.56

(注) 当社は自己株式を617,555株保有しておりますが、上記大株主(上位10社)から除外し、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主優待制度について

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主優待制度を導入しております。

対象

毎年3月末日の株主名簿に記載された3単元(300株)以上の株式を保有していただいている株主の皆さまを対象とします。

ご優待内容

所有株式数に応じて、以下の優待内容をお届けします。

所有株式数	贈呈内容
300株以上	3,000円相当 左記金額相当のギフトカタログの中から、ご希望商品を1点贈呈いたします。
500株以上	5,000円相当
1,000株以上	10,000円相当



▼詳しくは、以下のURLをご参照ください。

<https://www.kk-alpha.com/ir/benefit.html>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.kk-alpha.com (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL: 0120-232-711(通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(注) 1. 証券会社等の口座に記載された株式に関するお問い合わせにつきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください。
2. 未払い配当金につきましては、当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお支払いの手続きをいたします。
3. 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



株式会社アルファ

〒236-0004
神奈川県横浜市金沢区福浦一丁目6番8号

IRに関する
お問い合わせ

Tel 045-787-8401 Mail ir@kk-alpha.co.jp
<https://www.kk-alpha.com> ● 当社HPもあわせてご覧ください



本株主通信は、
環境安全のため再生紙を使用し、
「植物油インキ」で印刷しています。